

第2委員会 テーマ「 歴史 」

「行動プラン」(案)

テーマは、よこすかの歴史から学ぶ、よこすかの特性を活かした魅力ある特産品を考えように取り組み、以下の特産品を提案します。

<スカブルーサイダー>

横須賀の海の青を綺麗に保ってもらいたいと言う願いを込めました。

我々第二委員会で発案したまったく新しいタイプの味です。

パッケージにはスカリンを使い スカリンの一言 なるコラムを載せて行きます。容器は 500ml のペットボトルを使用し将来的にはスカリンジュースの販売を希望します。

～キャッチフレーズ～ (ちよつとこころでクールダウン)

<スカリンの恋心>

フレーバーには横須賀の桜の花びらのエキスを走水に抽出したものを使います。

さらに恋心という事でスカリンの恋人となる新キャラ、桜にちなんで(さくらちゃん)となりました。これをスカリンと一緒にパッケージに載せたいと思います。容器は 500ml のペットボトルを使いコラム さくらちゃんの一言 を載せていきます。

～キャッチフレーズ～ (ほのかに香る恋の味)

<今後の取り組み>

この活動をより活発にするために当委員会ではスカリンジュースのパッケージに横須賀市民から募集したコラムを載ることで広く発信したいと思います。

「委員会報告」

当委員会では、まず初めによこすかの歴史について現状把握を行いその結果「横須賀は開国のきっかけをつくった地域である」「ペリーが来航した」「日本初の洋式灯台 観音崎灯台」「鎌倉時代の有力御家人 三浦一族」「三浦按針の墓がある」「海軍基地など基地のまちとしての歴史がある」等のことがあがりました。

その後、横須賀市の歴史の良いイメージ・悪いイメージを話し合い、良いイメージは「東浦賀はいわし問屋がたくさんあり、物流が盛んだった」「日本が国際化するきっかけとなった」「観音崎灯台など西洋文化がいち早く入って来た」

「造船所など欧米の技術を取り入れ近代化が進んだ」などができました。

そして悪いイメージは「基地のまちのイメージがついた」「黒船が来たことで日本を混乱させた」などを悪いところとしました。

良い歴史イメージはそのまま地域特性として捉え、悪いイメージでも、認知度はあるので逆転の発想をしたうえで、地域特性として捉えることにしました。

次に、この横須賀の歴史から何か新しい特産品を話し合いました。

まず浦賀の物流が盛んな理由も黒船が来航し、日本初の灯台や海軍基地ができたのは横須賀が半島で東京湾と相模湾にはさまれた海と関わりの深い地域であるからであると考えました。

その海というキーワードから特産品について話し合い、食べ物や飲み物にするか、物で考えるか、二つに大別されました。

食べ物や飲み物では、カレー味の飲み物やお菓子、タコス、ハンバーガー、ホットドックなど、物では、スカリン入りのスカジャン、海軍カレーのキーホルダー（匂い付き）、海軍スカーフ、スカリン浴衣、スカリンダボ、などの意見ができました。そして腐りにくく自動販売機などに入れてもらえば多くの人に発信できる飲料を特産品として話し合うこととしました。

また、いろいろ意見が出たなかの多くに、横須賀のイメージキャラであるスカリンが出たので企画に絡めることに決めました。

当委員会では、これらの事を踏まえて、海のイメージ色、ブルーを使い飲み物を特産品として考え、横須賀のイメージキャラであるスカリンをパッケージにしたジュース「スカリンジュース」を作っていくことを基本路線に話し合うことを決定しました。

そして話し合い、できたものが、スカブルーサイダーです。さらにその飲み物と対になる飲み物としてスカリンの恋心を企画しました。